

■竹中芳(夢野京太郎)

ルポライター・アナキスト・評論家。芸能界や政界に斬り込む問題作を出し続けた。

たけなかるう  
海軍軍縮条約1930=  
満州事変・・・1931= 1歳:

東京牛込区肴町で出生。竹中英太郎と八重子の長男に生まれる。  
名ははじめ乱だったが、父親がアナキズムからボルシェヴィズムに転向したため芳に変わったという。  
家庭の事情で転居・転校4度、

日中戦争始・1937= 7歳:

第二次大戦始1939= 9歳:

日米開戦・・・1941=11歳  
近代の超克・1942=12歳  
年金+総武装 1944=14歳  
敗戦・・・1945=15歳  
新憲法公布・1946=16歳  
新憲法施行・1947=17歳:

父が平島つね子と再婚したため、実母から離され、小学校5年次に品川区立会川へ移り、  
鯉浜小学校を卒業して、高輪中学校に入学するが、立会川の鉄工場が戦時企業整備により閉鎖されたため、  
父に連れられ甲府へ疎開し、山梨県立甲府中学校に転入学。  
学徒勤労働員で神奈川県大船の海軍燃料廠に行くが、  
制裁で瀕死の重傷を病気と偽られて甲府に戻される。甲府中学校全学ストライキを指揮し退学処分。  
東京外事専門学校(東京外語大)露語学科に入学。この間、**美空ひばりの歌を耳にしてのめり込み**、  
**日本共産党に入党**。引き揚学生東京学生同盟の事務局長となり、東京都引揚者連合会文化部長を兼任。右  
翼学生の反撃や援助物資横流しのデマに嫌気、党を離れ、**ルンペン・プロレタリアート**と称する。

樞東裁判決・1948=**18歳**  
三大事件・・・1949=19歳  
朝鮮戦争始・1950=20歳  
独立回復・・・1951=21歳  
メデー事件・1952=22歳  
テレビ放送始・1953=23歳  
なべ底不況・1957=**27歳**:

東京外語大除籍となり、**山谷や横浜のドヤ街に住み肉体労働に従事**。  
蔵物故買容疑で逮捕されるが完全黙秘し釈放。諸業のかたわら映画サークルや劇団を主宰。  
**甲府自由労働組合情宣・文化部長として専従**。新日本文学会員となり同人誌に小説を発表。  
自由労組を指揮して**労働運動に奔走**。共同工芸社争議では**共同謀議容疑**で父とともに被告。  
**再び東京山谷へ**。淀橋警察署焼打ち事件に連座。甲府刑務所に収監、共産党から**党員資格剥奪**される。  
**釈放され、甲府で印刷会社設立**。芸能を通じた活動に目覚め**ルポルタージュ**を同人誌に発表。

インクアウト・1958=28歳  
美智子妃・1959=29歳  
安保闘争・・・1960=30歳  
タイタイ病始・1961=31歳  
TV宇宙中継始1963=33歳  
東京リビウカ 1964=34歳:

上京し、{東京毎夕新聞}に入社。文化部で猥雑な雰囲気の中沈潜翰晦の日々。  
退社独立、**ルポ・ライターを名乗って、{女性自身}にスカウトされ、芸能ネタが得意となり**、  
安保闘争で{若い日本の会}に参加、文化人に呆れ脱退。**芸能人・皇族から死者まで手記を創作・代作**。  
**内部から変革すべきだと共産党に復党**。  
{女性自身}で芸能人の結婚や離婚スクープ。森繁久弥との間に**“二重の筆禍事件”**などで、独立し、  
**フリーのルポライター**。船橋市高根台団地に転居、自治会長となる一方、若いサラリーマンとその妻による  
隠微な団地の本質を見抜いて。{弘文堂}から処女作**「団地七つの大罪」**を出版し映画化もされる。

大学紛争始・1965=35歳  
いざなぎ景気1966=**36歳**:

{処女喪失}出版し映画化。**\*さらに「美空ひばり」で名声確立**。**印税・映画原作者でアジア・中国旅行**。  
来日したビートルズを追跡し、音楽ジャーナリスト7人と{話の特集}共同責任編集。深沢七郎・三島由紀夫  
らに絶賛されるも売れず。**東映俳優労働組合争議を支援、{東映俳優諸君を守る運動ニュース}を発行**。「  
呼び屋」出版直後に{弘文堂}が倒産、印税不払いで経済的に逼迫。

美濃部都知事1967=37歳  
震ヶ関ビル・1968=38歳:

{人生相談}レギュラー皮切りにテレビ・ラジオにも進出。大阪労音「大日本演歌党」を共同演出、**軍歌をタブーとする労音で物議**。日本共産党除名、**東俳争議は勝利**。世界革命志し、**まずキューバへ**。  
映画「セックス猟奇地帯」のシナリオ、イベント「狂気見本市」プロデュース。「タレント帝国」。**{話の特集}**  
に「メモ・キューバ」連載。テレビ出演激増。山谷詩人梶大介の要請で山谷解放闘争のイベント企画。**“東京都庁乱入事件”で逮捕**。プロレタリア解放同盟を結成し機関誌**「解放戦線」**創刊、地下印刷所を経営。

全共闘ビーク・1969=39歳  
大阪万博・・・1970=40歳:

「山谷一都市反乱の原点」。「書かれざる美空ひばり」連載し、**部落解放同盟大阪府連から糾弾**される。全国の学園闘争に関与。山谷玉姫公園集会以**私刑罪と乱闘**。「日本禁歌集」企画し、音楽によるルポルタージュに熱中。映画製作協力のため、**はじめて沖縄へ行き「メモ沖縄」**連載、以後、**沖縄に行き深入りして行く**。  
以後、連載・出演やイベント企画する間、**「週間読売」「エライ人を斬る」**連載が総理夫人佐藤寛子の干渉で  
中断となり訴訟問題に。レギュラー審査員だった**全日本歌謡選手権優勝歌手童よしみのため作詞**。  
「エライ人を斬る」出版。「倭奴へー在韓被爆者無告の26年」準備の韓国行きビザ発給を拒否される。

トルジョック・・・1971=41歳  
日中国交回復1972=42歳  
石油ショック1973=43歳  
角栄金脈辞任1974=44歳:

沖縄にて琉球独立党を支援。太田竜と絶縁し、大島渚と論争。「琉球共和国」「国貞」裁判・始末。  
「世界赤軍」「無頼と荊冠」。「キネマ旬報」に「**日本映画縦断**」連載開始。  
「逆桃源行」。「日本映画縦断(1)」。**「新宗連の若者を伴い“アジア懺悔行”**。猫30匹とともに箱根宮城野に転居  
。マレーネ・ディートリッヒと公演プロデュース。

ケアンズ・ルンペン事件1975=**45歳**  
田中角栄逮捕1976=46歳:

「琉歌幻視行」「日本映画縦断(2)」。「**日本映画縦断**」でキネマ旬報読者賞。記録映画**「アジア懺悔行」**完成し自主上映。「メモ沖縄」連載終る。沖縄烏うたの集大成を企図、**独力で「嘉手苧林昌の世界」他LP34枚+SP1枚**。  
「日本映画縦断(3)」**「鞍馬天狗のおじさん」**。「**アジア懺悔行**」連続上映のため**東南アジアへ**。戦前の映画監督山上伊太郎終焉の地**フィリピンへ**、山上の代表作**「浪人街」**ツアー問題でキネマ旬報社が編集長解任。  
「新右翼青年へのアピール」「自由への証言」、**「週間文春」**に連載契約破棄された**「タレント残酷物語」**出版。  
五木寛之の名作**「戒厳令の夜」**の映画化を委託される。山上伊太郎悼む地蔵を彫刻、(山上伊太郎忌)始める。  
「週間読売筆禍裁判」和解成立するも、「**日本映画縦断**」連載打切りで提訴、「**キネマ旬報裁判**」始まる。

JALハイジャック・1977=47歳  
成田衝突・・・1978=48歳  
革新大敗北・1979=49歳:

「仮面を剥ぐ」「左右を斬る」「開書・庶民烈伝(1)」。「**創価学会の初代会長牧口常三郎の人生さぐる「開書・庶民烈伝」**を(潮)に連載始めるも、学会と対立し中止。{アラブ映画祭}審査委員としてシリア、レバノンへ。  
「江青奪還作戦」。「わが酒の自伝」連載。「パレスチナ問題で中東取材、リビアとの回路をつなぐ」。  
「開書・庶民烈伝(2)」**「大杉栄」「人間を読む」**。「中東取材行後、視界に変調、直ちに人間ドック入り。体力の続く限りルポライターの初志を貫きたいと、また中東に出发。以後、諸病併発で入退院繰返しながら、  
「**につぼん情歌行**」「開書・庶民烈伝(3)」。中東取材し「**小説中東水滸伝**」「**重信房子の半生記**」連載。  
「開書・庶民烈伝(4)」。「**美空ひばり**」が文庫本に。「**フィリピン革命一周年取材に東南アジアへ**。準備委員会から関わったリビアでの**国際革命家フォーラム{マタバ}**の議長として基調報告、帰国途中立ち寄ったイギリスで査証拒否され強制退去。入院、余命3年長くて5年の診断。「**キネマ旬報裁判**」は和解。

貿易摩擦始・1980=50歳  
・・・1981=51歳  
中曾根内閣・1982=52歳  
デイス・コート・1983=53歳:

「法を裁く」。**大島渚・野坂昭如らと山根弁護士処分反対の運動を発意し“千人委員会”**設立し、日弁連に対抗。  
「**ルポライター事始**」「**右翼との対話**」。情報誌{香港コンフィデンシャル}創刊のため、**香港・マカオ・中国**を取材。鶴田浩二・羽仁五郎らの呼びかけで{竹中芳を鼓舞する会}。  
「ビートルズ・レポート」復刊。「**芸能の論理**」。映画{俗物図鑑}に出演。  
「**仮面を剥ぐ**」「**左右を斬る**」「**開書・庶民烈伝(1)**」。「**創価学会の初代会長牧口常三郎の人生さぐる「開書・庶民烈伝」**を(潮)に連載始めるも、学会と対立し中止。{アラブ映画祭}審査委員としてシリア、レバノンへ。

・・・1984=**54歳**  
ジャンボ機墜落1985=55歳:

「**江青奪還作戦**」。「わが酒の自伝」連載。「**パレスチナ問題で中東取材、リビアとの回路をつなぐ**」。  
「**開書・庶民烈伝(2)**」「**大杉栄**」「**人間を読む**」。「**中東取材行後、視界に変調、直ちに人間ドック入り。体力の続く限りルポライターの初志を貫きたいと、また中東に出发。以後、諸病併発で入退院繰返しながら、**  
「**につぼん情歌行**」「**開書・庶民烈伝(3)**」。**中東取材し「小説中東水滸伝」**。「**重信房子の半生記**」連載。  
「**開書・庶民烈伝(4)**」。「**美空ひばり**」が文庫本に。「**フィリピン革命一周年取材に東南アジアへ**。準備委員会から関わったリビアでの**国際革命家フォーラム{マタバ}**の議長として基調報告、帰国途中立ち寄ったイギリスで査証拒否され強制退去。入院、余命3年長くて5年の診断。「**キネマ旬報裁判**」は和解。

バブル始・・・1986=56歳  
竹下内閣・・・1987=57歳:

リビアでの{**緑の書シンポジウム**}に出席。父が死去。諸病併発し入院一カ月。鎌倉に移る。  
昭和天皇没・1989=59歳  
トイ統一・・・1990=60歳

・・・1991=61歳

甲府と東京で\***「竹中英太郎回顧展」**開催し、父を再評価させる。美空ひばり死去で各紙誌に追悼文。  
テレビ出演多数。「**噂の真相**」に「**竹中芳のページ**」連載。テレビ番組{イカ天}の審査員として出演したバンド{たま}を高く評価、「**たまの本**」出版し記念パーティ。「**百怪我が腸ニ入ル**」/竹中英太郎面談が、  
\***推理作家協会賞**。なお**沖縄へ行き、ラジオで語るが、テレビにVTR出演最後に、肝臓痛で没した**。